



# BUSINESS REPORT

第 **185** 期 中間期

平成 19 年 4 月 1 日 → 平成 19 年 9 月 30 日

 **Kawasaki**

川崎重工業株式会社  
証券コード 7012



取締役社長

**大橋忠晴**

(おおはし ただはる)

初冬の候、株主のみなさまにはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

川崎重工グループの第185期（平成19年度）中間期の事業の状況をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

### ■ 当中間期の概況

当中間期における経営環境は、個人消費の鈍化など景況感の悪化があったものの、輸出や民間設備投資の増加により、国内景気は引続き拡大基調で推移し、海外においても、欧州や中国・アジアなどを中心に、景気は総じて堅調に推移しました。しかしながら、米国における住宅ローン（サブプライムローン）問題に端を発する為替や株価の変動など景気の悪化懸念がみられ、当グループを取り巻く環境は予断を許さない状況が続きました。

このような経営環境の下、当グループは積極的に事業活動を展開し、売上高につきましては、船舶事業、汎用機事業の増加を主因に、6,995億円と前中間期を536億円上回りました。

利益面につきましては、引続き経営全般にわたる収益改善諸施策を積極的に推進した結果、経常利益は337億円と前中間期を134億円上回りました。また、中間純利益は198億円と前中間期を84億円上回りました。

また、当中間期の単独業績につきましては、売上高4,186億円、経常利益210億円、中間純利益は144億円となりました。

利益配分につきましては、内部留保の充実に配慮しつつ、業績に見合った配当を安定的に継続することを基本方針としておりますが、通期の事業環境が不透明であり、中間配当につきましては、見送らせていただくこととしました。

なお、本年8月、(株)川崎造船神戸工場において、修理中のクレーンの倒壊により、重大な人身事故が発生しました。みなさまに多大なご心配をお掛けいたしましたこととお詫び申し上げます。グループ全体の問題として、二度とこのようなことを起こさないよう安全管理体制の強化に努めて参ります。

### ■ 中期経営計画「Global」

昨年9月に策定発表しました中期経営計画「Global」は2年目も半ばを過ぎましたが、「当中間期の概況」にも述べましたとおり、目標の達成にむけて順調に推移しています。世界経済の状況や個々の事業環境の面で不安定な要因もあることから、「Global」の中間年である2008年度において、事業毎に現状分析と課題の把握をしっかりと行い、10年後のあるべき姿を見据えながら、目標の達成に向けて、社会環境の変化に応じて戦略を見直したうえで、対応策・アクションプランを実施して参ります。

### ■ カワサキグループ・ミッションステートメント

「Global」においては、10年後の姿として、「高度な技術力により世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献するグローバル・リーディングカンパニーとなる」ことを目指しています。当グループが、激変する社会・経営環境のなか、総合技術力を最大限に発揮してグローバル・リーディングカンパニーを実現していくうえでの、グループ全体の羅針盤として、「カワサキグループ・ミッションステートメント」を本年5月に制定しました。

ミッションステートメントは、当グループの社会観・使命を「グループミッション」として最上位に位置づけ、次に、グループとして重きを置く価値を「カワサキバリュー」として定めています。これは、経営戦略や製品開発方針などを立案・決定する際の立脚点になるものであり、カワサキブランドの根幹をなすものです。

これらの下に、「グループ経営原則」、「グループ行動指針」を定めています。

ミッションステートメントは、当グループの構成員一人ひとりが、ここに謳われているミッションとバリューを共有し、行動指針に基づいて日々の業務に精励することにより、組織の活性化を通して当グループの企業文化の高度化を実現し、企業価値・ブランド価値を向上させることを目的としています。

当グループは、「カワサキグループ・ミッションステートメント」を共有し、実践していくことで、株主のみなさま・顧客・地域社会をはじめとするステークホルダーにとっての価値を創造し、更に企業価値を高めて参りますので、株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年12月

## カワサキグループ・ミッションステートメント

### ■ グループミッション

「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する“Global Kawasaki”」

川崎重工グループは、広汎な領域における高度な総合技術力によって、地球環境との調和を図りながら、豊かで美しい未来社会の形成に向けて、新たな価値を創造します。

### ■ カワサキバリュー

価値創造：グローバル規模での社会・顧客の価値創造をカワサキバリューとする

独自性：独自性・革新性・先進性をカワサキバリューとする  
最高品質：世界最高レベルの機能・品質をカワサキバリューとする

### ■ グループ経営原則

- 1 高度な総合技術力に基づく、高機能・高品質で安全な製品・サービスの提供を使命とし、社会と顧客から信頼される。
- 2 事業展開のすべての局面において企業の社会的責任を認識し、地球・社会・地域・人々と共生する。
- 3 誠実・活力・高度な組織力と労使の相互信頼を企業文化とし、グローバルに“人財”を育成・活用する。
- 4 “選択と集中”、“質主量従”、“リスクマネジメント”を指針とし、収益力と企業価値の持続的向上を図る。

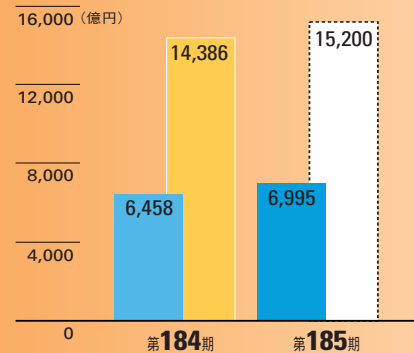
### ■ グループ行動指針

- 1 長期的・多面的・グローバルな視点に立って思考し、行動する。
- 2 革新を旨とし、高い目標を持って困難な課題に挑戦する。
- 3 夢と情熱を持ち、目標の実現に向け、最善を尽くす。
- 4 高い倫理観と優れた人格を持ち、社会と人々から信頼される企業人となる。
- 5 自己練磨を怠らず、自ら考え行動する「自主独立のプロフェッショナル」となる。
- 6 誇りと喜びを共有する、「チーム・カワサキ」の良きメンバーとなる。

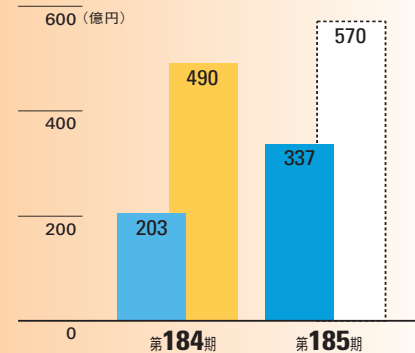
# 中間決算ハイライト 185

Financial Highlights

## 連結売上高



## 連結経常利益



- 第184期中間期
- 第184期通期
- 第185期中間期
- 第185期通期予想

※ 業績予想などは、合理的と判断するデータに基づいて作成し、11月2日に開示したものであり、リスクや不確定要素を含んでいるため、実際の業績は予想と異なる可能性があります。

## セグメント別の状況

Review of Operations

### 船舶事業

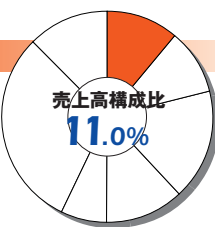


LPG運搬船「BW BROKER」

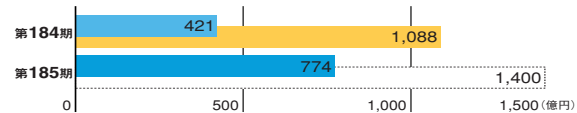
受注高は、LPG船2隻、ばら積み貨物船11隻を受注したことにより、856億円となり前中間期より大幅に増加しました。

売上高は、LPG船1隻、大型タンカー1隻、ばら積み貨物船2隻の合計4隻を引き渡したことなどにより、774億円となり前中間期より大幅に増加しました。

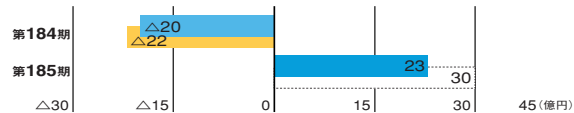
営業利益は、売上高の増加及び採算改善により23億円となり、損失を計上した前中間期より大幅に改善しました。



#### 売上高



#### 営業損益



■ 第184期中間期 ■ 第184期通期 ■ 第185期中間期 □ 第185期通期予想

## セグメント別の状況

Review of Operations

### 車両事業

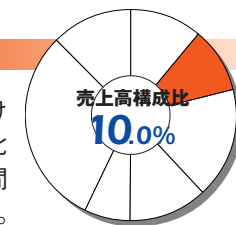


N700系 新幹線電車

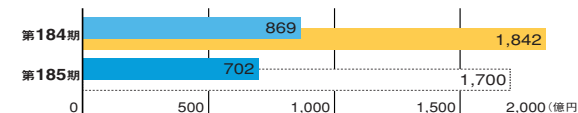
受注高は、JR向け新幹線電車や北米向け地下鉄追加車両などを受注しましたが、北米向け通勤車両の大口受注があった前中間期より大幅に減少し、1,216億円となりました。

売上高は、国内向けは増加したものの海外向け案件の減少などにより前中間期より減少し、702億円となりました。

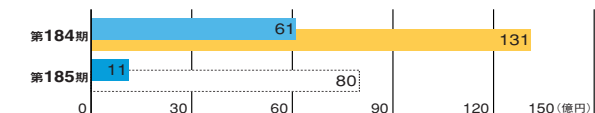
営業利益についても、売上高の減少に伴い前中間期より大幅に減少し、11億円となりました。



#### 売上高



#### 営業損益



■ 第184期中間期 ■ 第184期通期 ■ 第185期中間期 □ 第185期通期予想

### 航空宇宙事業

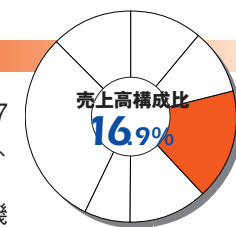


次期輸送機 (C-X) / 次期固定翼哨戒機 (P-X)

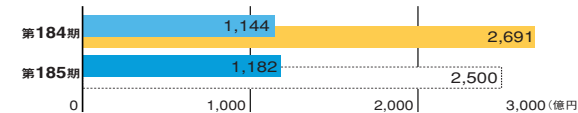
受注高は、ボーイング社向けB777・B787旅客機分担製造品を受注したことなどにより、737億円となり前中間期より増加しました。

売上高は、ボーイング社向けB777旅客機分担製造品の売上増などにより、1,182億円となり前中間期より増加しました。

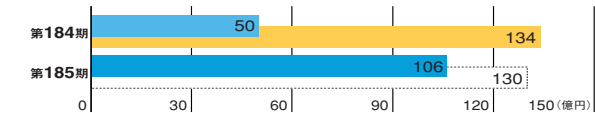
営業利益は、為替レートが円安ドル高傾向で推移したことなどによる採算好転により、106億円となり前中間期より大幅に増加しました。



#### 売上高

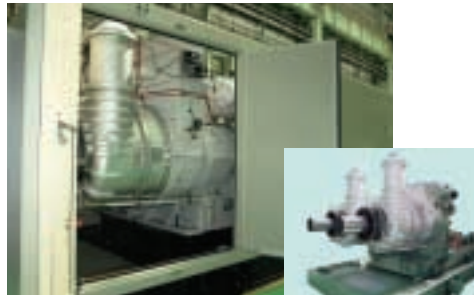


#### 営業損益



■ 第184期中間期 ■ 第184期通期 ■ 第185期中間期 □ 第185期通期予想

ガスタービン・機械事業

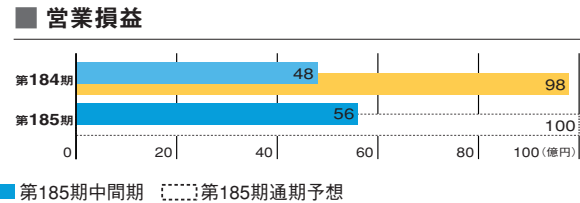
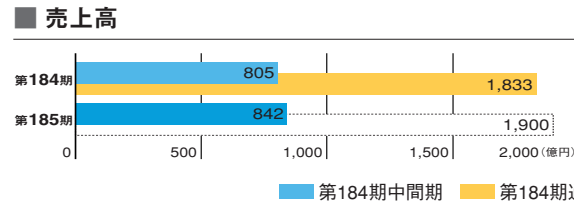
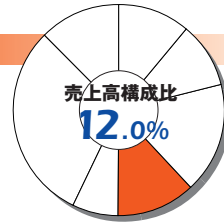


GPS6000 非常用ガスタービン発電設備

受注高は、V2500・トレント等の民需航空機用エンジン分担製造品、ディーゼル主機関、民需向けガスタービン発電設備及び天然ガス圧送設備などを受注しましたが、船用蒸気タービン主機関などの減少により前中間期より減少し、935億円となりました。

売上高は、民需航空機用エンジン分担製造品の売上増などにより、842億円となり前中間期より増加しました。

営業利益は、売上高の増加に伴い、56億円となり前中間期より増加しました。



プラント・環境・鉄構事業

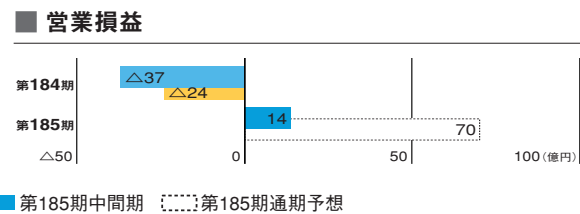
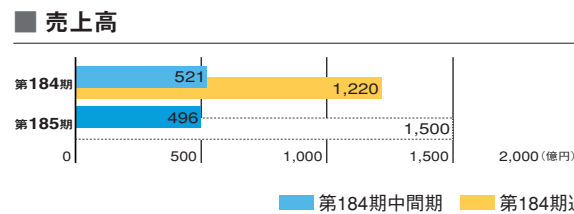
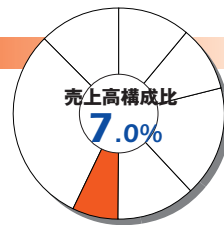


石川県珠洲市浄化センター向け複合バイオマスメタン発酵処理施設

受注高は、海外向けセメントプラント、フェロニッケル精錬プラントなどの大型案件の受注があった前中間期より大幅に減少し、415億円となりました。

売上高は、都市ごみ焼却施設の売上減などにより前中間期より減少し、496億円となりました。

営業利益は、プラント、環境部門の分社会社の合併による合理化効果や不採算案件の減少などにより14億円の利益となり、損失を計上した前中間期より大幅に改善しました。



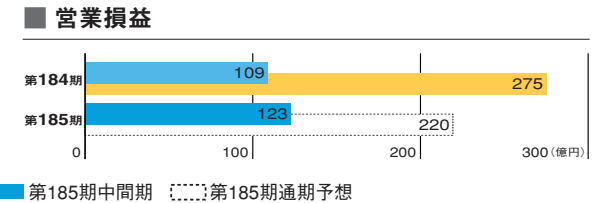
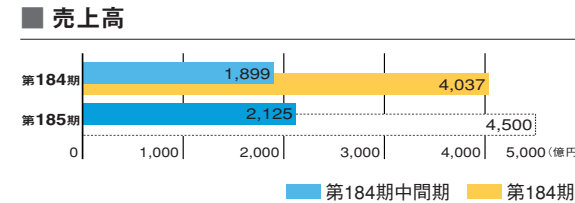
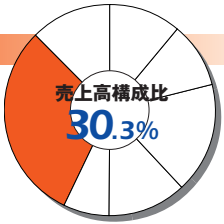
汎用機事業



1400GTR

売上高は、北米向け二輪車の販売は減少したものの、欧州向け二輪車の販売増や、自動車産業向けロボット及び半導体搬送ロボットの販売が高水準を維持していることなどにより、2,125億円となり前中間期より増加しました。

営業利益は、売上高の増加に伴い、123億円となり前中間期より増加しました。



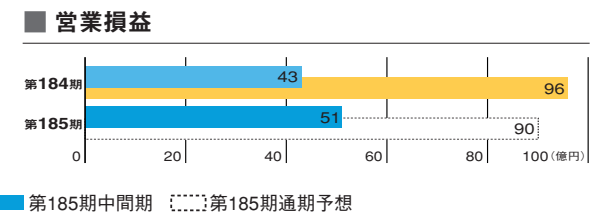
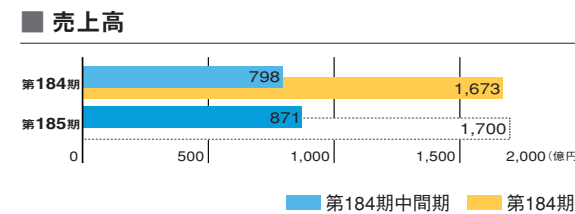
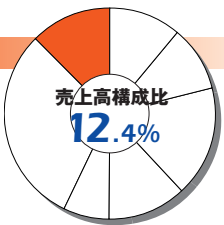
その他事業



各種油圧機器

売上高は、建設機械向けの需要が引き続き好調な油圧機器部門が高水準で推移したことから、871億円となり前中間期より増加しました。

営業利益は、51億円となり前中間期より増加しました。



中間連結貸借対照表

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

| 科目          | 当中間期             | 前期               |
|-------------|------------------|------------------|
|             | 平成19年9月30日現在     | 平成19年3月31日現在     |
| <b>資産の部</b> |                  |                  |
| <b>流動資産</b> | <b>918,753</b>   | <b>961,917</b>   |
| 現金及び預金      | 23,176           | 39,350           |
| 受取手形及び売掛金   | 372,311          | 428,588          |
| たな卸資産       | 444,516          | 427,934          |
| その他         | 82,844           | 70,317           |
| 貸倒引当金       | △ 4,096          | △ 4,273          |
| <b>固定資産</b> | <b>404,025</b>   | <b>396,062</b>   |
| 有形固定資産      | 258,526          | 253,819          |
| 建物及び構築物     | 98,510           | 97,385           |
| 機械装置及び運搬具   | 64,665           | 62,307           |
| 土地          | 66,731           | 66,502           |
| その他         | 28,618           | 27,623           |
| 無形固定資産      | 15,460           | 15,128           |
| 投資その他の資産    | 130,039          | 127,114          |
| 投資有価証券      | 69,886           | 65,327           |
| その他         | 61,629           | 63,259           |
| 貸倒引当金       | △ 1,477          | △ 1,472          |
| <b>資産合計</b> | <b>1,322,778</b> | <b>1,357,979</b> |

(単位：百万円)

| 科目              | 当中間期             | 前期               |
|-----------------|------------------|------------------|
|                 | 平成19年9月30日現在     | 平成19年3月31日現在     |
| <b>負債の部</b>     |                  |                  |
| <b>流動負債</b>     | <b>768,919</b>   | <b>806,506</b>   |
| 支払手形及び買掛金       | 372,216          | 412,501          |
| 短期借入金           | 110,369          | 118,463          |
| 前受金             | 138,683          | 124,444          |
| その他             | 147,649          | 151,096          |
| <b>固定負債</b>     | <b>236,232</b>   | <b>256,095</b>   |
| 社債              | 61,125           | 80,826           |
| 長期借入金           | 82,230           | 84,927           |
| その他             | 92,876           | 90,342           |
| <b>負債合計</b>     | <b>1,005,151</b> | <b>1,062,602</b> |
| <b>純資産の部</b>    |                  |                  |
| <b>株主資本</b>     | <b>295,915</b>   | <b>282,110</b>   |
| 資本金             | 104,265          | 103,187          |
| 資本剰余金           | 54,251           | 53,179           |
| 利益剰余金           | 137,454          | 125,798          |
| 自己株式            | △ 55             | △ 55             |
| <b>評価・換算差額等</b> | <b>15,956</b>    | <b>8,317</b>     |
| その他有価証券評価差額金    | 23,147           | 19,342           |
| 繰延ヘッジ損益         | △ 149            | △ 1,607          |
| 為替換算調整勘定        | △ 7,041          | △ 9,417          |
| <b>少数株主持分</b>   | <b>5,754</b>     | <b>4,949</b>     |
| <b>純資産合計</b>    | <b>317,627</b>   | <b>295,377</b>   |
| <b>負債・純資産合計</b> | <b>1,322,778</b> | <b>1,357,979</b> |

Point 1

連結キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ・フロー計算書とは、一会計期間における資金（現金及び現金同等物）の増減を、営業活動・投資活動・財務活動などに区分して表示する財務諸表の一つです。

営業活動の区分では損益計算書からは分からない仕入や販売による資金の増減を、投資活動の区分では設備投資による資金の増減を、財務活動の区分では有利子負債の返済状況や、配当のような資本取引にかかる資金の増減を知ることができます。

Point 2

連結株主資本等変動計算書

株主資本等変動計算書とは、会社法によって、剰余金の処分が柔軟に行えるようになったことなどから、資本の変動する機会が増え、貸借対照表だけでは期中の純資産の変動を把握することが難しくなったため作成が必要になった、財務諸表の一つです。当期純利益だけでなく、配当や資本組入のような資本取引の内訳を理由別に知ることができます。

中間連結損益計算書 中間連結キャッシュ・フロー計算書  
中間連結株主資本等変動計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

| 科目           | 当中間期                    | 前中間期                    |
|--------------|-------------------------|-------------------------|
|              | 平成19年4月1日から平成19年9月30日まで | 平成18年4月1日から平成18年9月30日まで |
| 売上高          | 699,540                 | 645,851                 |
| 売上原価         | 582,117                 | 555,715                 |
| 売上総利益        | 117,422                 | 90,136                  |
| 販売費及び一般管理費   | 78,372                  | 64,574                  |
| <b>営業利益</b>  | <b>39,050</b>           | <b>25,562</b>           |
| 営業外収益        | 7,811                   | 4,327                   |
| 営業外費用        | 13,072                  | 9,521                   |
| <b>経常利益</b>  | <b>33,789</b>           | <b>20,367</b>           |
| 特別利益         | 292                     | —                       |
| 特別損失         | 2,245                   | 128                     |
| 税金等調整前中間純利益  | 31,837                  | 20,239                  |
| 法人税、住民税及び事業税 | 11,470                  | 8,576                   |
| 少数株主利益       | 488                     | 248                     |
| <b>中間純利益</b> | <b>19,877</b>           | <b>11,413</b>           |

中間連結キャッシュ・フロー計算書

Point 1

(単位：百万円)

| 科目                | 当中間期                    | 前中間期                    |
|-------------------|-------------------------|-------------------------|
|                   | 平成19年4月1日から平成19年9月30日まで | 平成18年4月1日から平成18年9月30日まで |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー  | 24,010                  | △ 10,767                |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー  | △ 20,189                | △ 26,734                |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー  | △ 20,800                | 24,772                  |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額  | 412                     | 118                     |
| 現金及び現金同等物の減少額     | △ 16,567                | △ 12,611                |
| 現金及び現金同等物の期首残高    | 39,228                  | 37,505                  |
| 連結子会社の会計期間変更による   | 158                     | —                       |
| 現金及び現金同等物の期首残高増加高 | —                       | —                       |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高  | 22,819                  | 24,894                  |

中間連結株主資本等変動計算書

Point 2

当中間期（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）

(単位：百万円)

|                         | 株主資本         |              |               |          |               | 評価・換算差額等     |              |              |              | 少数株主持分     | 純資産合計         |
|-------------------------|--------------|--------------|---------------|----------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------|---------------|
|                         | 資本金          | 資本剰余金        | 利益剰余金         | 自己株式     | 株主資本合計        | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益      | 為替換算調整勘定     | 評価・換算差額等合計   |            |               |
| 平成19年3月31日残高            | 103,187      | 53,179       | 125,798       | △ 55     | 282,110       | 19,342       | △ 1,607      | △ 9,417      | 8,317        | 4,949      | 295,377       |
| <b>当中間期中の変動額</b>        |              |              |               |          |               |              |              |              |              |            |               |
| 新株の発行                   | 1,077        | 1,052        |               |          | 2,129         |              |              |              |              |            | 2,129         |
| 剰余金の配当                  |              |              | △ 8,297       |          | △ 8,297       |              |              |              |              |            | △ 8,297       |
| 中間純利益                   |              |              | 19,877        |          | 19,877        |              |              |              |              |            | 19,877        |
| 自己株式の取得                 |              |              |               | △ 62     | △ 62          |              |              |              |              |            | △ 62          |
| 自己株式の処分                 |              | 20           |               | 62       | 82            |              |              |              |              |            | 82            |
| その他                     |              |              |               | 75       | 75            |              |              |              |              |            | 75            |
| 株主資本以外の項目の当中間期中の変動額（純額） |              |              |               |          |               | 3,805        | 1,457        | 2,375        | 7,639        | 804        | 8,444         |
| <b>当中間期中の変動額合計</b>      | <b>1,077</b> | <b>1,072</b> | <b>11,655</b> | <b>0</b> | <b>13,805</b> | <b>3,805</b> | <b>1,457</b> | <b>2,375</b> | <b>7,639</b> | <b>804</b> | <b>22,249</b> |
| 平成19年9月30日残高            | 104,265      | 54,251       | 137,454       | △ 55     | 295,915       | 23,147       | △ 149        | △ 7,041      | 15,956       | 5,754      | 317,627       |

中間単独貸借対照表 中間単独損益計算書  
中間単独株主資本等変動計算書

中間単独貸借対照表 (単位：百万円)

| 科目           | 当中間期         | 前期           |
|--------------|--------------|--------------|
|              | 平成19年9月30日現在 | 平成19年3月31日現在 |
| <b>資産の部</b>  |              |              |
| 流動資産         | 611,499      | 627,271      |
| 固定資産         | 318,116      | 310,997      |
| 有形固定資産       | 134,615      | 134,805      |
| 無形固定資産       | 10,363       | 9,820        |
| 投資その他の資産     | 173,136      | 166,371      |
| 資産合計         | 929,615      | 938,269      |
| <b>負債の部</b>  |              |              |
| 流動負債         | 512,852      | 518,756      |
| 固定負債         | 160,271      | 176,383      |
| 負債合計         | 673,123      | 695,139      |
| <b>純資産の部</b> |              |              |
| 株主資本         | 234,670      | 226,382      |
| 資本金          | 104,265      | 103,187      |
| 資本剰余金        | 52,048       | 50,995       |
| 利益剰余金        | 78,407       | 72,244       |
| 自己株式         | △ 50         | △ 45         |
| 評価・換算差額等     | 21,821       | 16,747       |
| 純資産合計        | 256,491      | 243,129      |
| 負債・純資産合計     | 929,615      | 938,269      |

中間単独損益計算書 (単位：百万円)

| 科目           | 当中間期                    | 前中間期                    |
|--------------|-------------------------|-------------------------|
|              | 平成19年4月1日から平成19年9月30日まで | 平成18年4月1日から平成18年9月30日まで |
| 売上高          | 418,640                 | 415,665                 |
| 売上原価         | 364,208                 | 379,820                 |
| 販売費及び一般管理費   | 28,785                  | 21,674                  |
| 営業利益         | 25,646                  | 14,170                  |
| 営業外収益        | 6,120                   | 3,575                   |
| 営業外費用        | 10,727                  | 6,955                   |
| 経常利益         | 21,039                  | 10,790                  |
| 特別利益         | 1,429                   | —                       |
| 特別損失         | 2,245                   | 128                     |
| 税引前中間純利益     | 20,223                  | 10,662                  |
| 法人税、住民税及び事業税 | 5,763                   | 3,374                   |
| 中間純利益        | 14,460                  | 7,288                   |

中間単独株主資本等変動計算書 (単位：百万円)

| 当中間期 (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで) | 株主資本    |        |          |         |        | 評価・換算差額等 | 純資産合計  |         |
|--------------------------------|---------|--------|----------|---------|--------|----------|--------|---------|
|                                | 資本金     | 資本剰余金  |          | 自己株式    | 株主資本合計 |          |        |         |
|                                |         | 資本準備金  | その他資本剰余金 |         |        |          |        |         |
| 平成19年3月31日残高                   | 103,187 | 50,945 | 49       | 72,244  | △ 45   | 226,382  | 16,747 | 243,129 |
| 当中間期中の変動額                      |         |        |          |         |        |          |        |         |
| 新株の発行                          | 1,077   | 1,052  |          |         |        | 2,129    |        | 2,129   |
| 剰余金の配当                         |         |        |          | △ 8,297 |        | △ 8,297  |        | △ 8,297 |
| 中間純利益                          |         |        |          | 14,460  |        | 14,460   |        | 14,460  |
| 自己株式の取得                        |         |        |          |         | △ 62   | △ 62     |        | △ 62    |
| 自己株式の処分                        |         |        | 0        |         | 57     | 58       |        | 58      |
| 株主資本以外の項目の当中間期中の変動額(純額)        |         |        |          |         |        |          | 5,073  | 5,073   |
| 当中間期中の変動額合計                    | 1,077   | 1,052  | 0        | 6,162   | △ 4    | 8,288    | 5,073  | 13,361  |
| 平成19年9月30日残高                   | 104,265 | 51,997 | 50       | 78,407  | △ 50   | 234,670  | 21,821 | 256,491 |

会社概要・役員  
株式の状況・大株主 (平成19年9月30日現在)

■ 会社概要

創 立 明治29年10月15日  
資 本 金 104,265,062,978円  
従 業 員 10,168名  
本 社 (神戸) 神戸市中央区東川崎町1丁目1番3号  
(東京) 東京都港区浜松町2丁目4番1号

■ 役 員

|        |         |      |         |
|--------|---------|------|---------|
| 取締役会長  | 田 崎 雅 元 | 執行役員 | 大 山 正 俊 |
| 取締役社長  | 大 橋 忠 晴 | 執行役員 | 能 勢 修 一 |
| 取締役副社長 | 寺 崎 正 俊 | 執行役員 | 中 野 民 雄 |
| 取締役副社長 | 松 崎 昭   | 執行役員 | 堀 川 英 嗣 |
| 常務取締役  | 元 山 近 思 | 執行役員 | 服 部 晃   |
| 常務取締役  | 野 口 二 郎 | 執行役員 | 浅 野 雄 一 |
| 常務取締役  | 瀬 川 雅 司 | 執行役員 | 鈴 木 伸 一 |
| 常務取締役  | 丹 波 農 一 | 執行役員 | 山 口 徹   |
| 常務取締役  | 三 原 修 二 | 執行役員 | 村 山 滋   |
| 常務取締役  | 長谷川 聰   | 執行役員 | 高 尾 光 俊 |
| 監 査 役  | 上 田 忠 男 | 執行役員 | 木野内 総 介 |
| 監 査 役  | 田 上 朗   | 執行役員 | 河 村 義 雄 |
| 監 査 役  | 川 本 洋   | 執行役員 | 松 岡 京 平 |
| 監 査 役  | 土 井 憲 三 | 執行役員 | 山 下 清 司 |
| 執行役員   | 浜 田 滋   | 執行役員 | 菅 原 健 史 |
| 執行役員   | 天 江 文 昭 | 執行役員 | 上 田 澄 広 |
| 執行役員   | 三 嶋 和 彦 | 執行役員 | 金 森 涉   |

■ 株式の状況

発行可能株式総数 3,360,000,000株  
発行済株式総数 1,668,911,902株  
株主総数 158,330名

■ 大株主

| 株主名                       | 所有株式数       | 比率    |
|---------------------------|-------------|-------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)   | 74,064,000株 | 4.43% |
| 株式会社みずほ銀行                 | 57,443,650株 | 3.44% |
| JFEスチール株式会社               | 56,174,400株 | 3.36% |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 55,818,000株 | 3.34% |
| 日本生命保険相互会社                | 54,016,659株 | 3.23% |
| 東京海上日動火災保険株式会社            | 46,397,589株 | 2.78% |
| 川崎重工従業員持株会                | 30,725,296株 | 1.84% |
| 川崎重工共栄会                   | 28,741,192株 | 1.72% |
| 日本興亜損害保険株式会社              | 27,521,999株 | 1.64% |
| 株式会社三井住友銀行                | 26,828,453株 | 1.60% |

表紙について

ロボット部門は、1969年に日本で初めて産業用ロボットを国産化して以来、多様なニーズに的確に対応し、卓越した技術と高い信頼性で常に業界をリードしています。

■大型汎用マニピュレータZX165U (左)

主に自動車ボディのスポット溶接で大活躍する万能大型ロボットです。

■クリーンロボットNX540 (右)

半導体製造装置内でシリコンウェハを高速搬送するクリーンロボットです。



ホームページのご案内  
当社の事業活動、製品情報、投資家情報などに関する詳しい情報を、ご覧いただけます。

<http://www.khi.co.jp>

## ■ 株主メモ

|         |  |
|---------|--|
| 事業年度    | 毎年4月1日から翌年3月31日まで  |
| 定時株主総会  | 毎年6月下旬   |
| 基準日     | 定時株主総会 毎年3月31日<br>期末配当金 毎年3月31日<br>中間配当金 毎年9月30日   |
|         | その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日  |
| 株主名簿管理人 | 中央三井信託銀行株式会社   |
| 同事務取扱場所 | 〒541-0041<br>大阪市中央区北浜二丁目2番21号<br>TEL：0120-78-2031(フリーダイヤル)<br>中央三井信託銀行株式会社<br>大阪支店 証券代行部 |
| 同取次所    | 中央三井信託銀行株式会社本店、全国各支店<br>日本証券代行株式会社本店、全国各支店   |

### ご案内

#### <住所変更の手続きについて>

新市制の施行や町村合併、住居表示の変更又は転居などにより、ご住所が変更になったときは、株主名簿の変更手続きが必要となります。手続きをお忘れになると株主総会招集ご通知や配当金などのお受け取りができなくなりますので、お早めにお手続きいただきますようお願いいたします。

#### <配当金振込制度のご利用について>

配当金のお受取方法には、銀行口座及びゆうちょ銀行（通常貯金口座）へのお振込も可能です。ご希望の株主様は、下記株主名簿管理人あて配当金振込指定書をご請求のうえお申し込みください。

○事務のお取扱い（電話お問い合わせ・郵便物送付先）  
中央三井信託銀行株式会社証券代行部（証券代行事務センター）  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
TEL：0120-78-2031(土日祝日を除く 午前9時～午後5時)

◆住所変更、名義書換請求などに必要な用紙のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル  
**0120-87-2031** で24時間受付しております。

川崎重工業株式会社

TEL：078-371-9533（総務部株式担当）



この報告書は古紙100%、白色度82%の再生紙を使用し、VOC（揮発性有機化合物）の発生が少ない植物性の大豆油インキで印刷しています。